

石見銀山の世界遺産登録5周年式典の開催、誠にありがとうございます。

世界遺産に登録された後、県内外からたくさんの方にお出でいただいております。

これも、地元・大田市民の皆様、近藤文化庁長官をはじめとする政府関係者の皆様、全国の研究者の方々など、多くの皆様にご協力をいただいているお蔭であります。心より感謝を申し上げます。

石見銀山遺跡は、16世紀の「大航海時代」において、海外や国内の経済・文化に大きな影響を与えたこと、その遺跡がきわめて良好な状態で保存されていること、そして自然と鉱山との共生が図られてきたことが高く評価され、世界遺産として登録されました。

こうした良く残されてきた遺跡や自然環境をしっかりと保全し、地域の誇りとして、また世界の宝として、将来に引き継いで行くことが我々の使命であります。

他方、石見銀山は大きな建造物がそびえ立つといった世界遺産ではありません。言わば、分かりにくい遺産であります。

そのために、県としても、石見銀山の調査・研究を引き続き地道に行い、石見銀山が世界の中で果たしてきた価値を、世界遺産センターの映像や展示品などで分かりやすく伝えていきたいと考えています。

また、観光地としての石見銀山を見ますと、おひざ元の大森の町には、しゃれたお土産店、食事どころなども増えてきており、また周辺の温泉津や仁摩などを含め、ゆっくり歩いたりできる街道や温泉にも恵まれております。

こうしたものの整備を進め、石見銀山が多くの人に親しまれ、愛好されるゆったりした観光地、くつろぎの場所となるよう、皆さんとともに さらに努力して参りたいと思います。

終わりに、ご列席の皆様のみすますのご発展とご健勝を祈念するとともに、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。